

令和三年度 卒業式 校長式辞

二百四名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、皆さん一人一人に手渡した卒業証書は9年間の義務教育の過程を終了したことの証となるものです。今一度、卒業証書を見て、感謝と自信を心に刻んでください。

「感謝」は、9年前に大きなランドセルを背負った皆さんを心配しながらも温かく送り出し、いつもそばで見守ってくれた保護者の方への感謝です。

「自信」は、社会の形成者として必要となる基本的な資質を身に付けたことへの自信です。改めて卒業証書の意味、重みを感じてみてください。そして、今日の日が、一緒に過ごしてきた仲間、家族、そして先生方との思い出を振り返る素敵な一日になることを心から願っています。

例年通りとはなりません、我孫子市教育委員会教育委員様、本校PTA会長様をお迎えし、各家庭1名と制限をさせていただきましたが多くの保護者の方にご臨席を賜り、「第四十六回卒業証書授与式」を挙行できますことは私にとって、また、本校職員にとって、大きな喜びとなっております。本日、ご臨席の方、ご臨席を賜れなかった方、本校の教育活動を支えていただいたすべての方のご協力とご厚情に心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今の気持ちはいかがですか。入学の時に思い描いていた、きらきらとしているはずの中学生活が1年生の最後から、コロナ禍で過ごすことになってしまった皆さんの今の気持ちはどのようなものですか。「やり切った達成感」とは程遠いものになってしまったのではないかと思います、寂し思いでいっぱいです。しかし、そのような状況の中でも、常に前向きに、そして、新しい発想で色々な事に皆さんは挑戦してくれました。自分たちの思いや考えを発信してきた皆さんだからできたことが沢山ありました。「制服の検討」「新しい形の送る会」「生徒の合言葉の作成」そして、「久寺家ゼミ」何よりも私自身が皆さんに感謝しているのが「緊急事態宣言中の二学期スタートにあたって皆さんがくれた沢山の意見」です。皆さんの分散登校やタブレットを活用した学習を望む声は、先生方を本気にさせてくれました。どのようにしたら可能か、たくさん時間を先生方で話し合いました。そのおかげで、9月の十日間は久寺家中学校のその後の宝になりました。このように皆さんは自分達の思いを発信し、先生方にやる気をくれました。

久寺家地区からもっと広い社会へはばたき、より多くの人と関わっていく皆さんは、自分の思いや考えを周りに伝えていくことが大事になります。しかし、発信には責任が伴う事、そして、発信するだけでなく聞くことの大切さを知っておいてください。沢山の意見や考えを聞き、自分の考えを修正し、より良いものを作り上げていく作業が、これからの時代を生きていく皆さんに求められます。

今、世界では悲しいことが起こっています。私は、無力な自分に呆然とし、耳をふさぎたくなります。それぞれの思いがあって当然。人の数だけ考え方や思いがあるのもわかります。でも、力で自分の思いや考えを押し通すことは絶対にあってはなりません。無力な私ができるのはこれからの社会を作っていく皆さんに願いを込め、社会を託すだけです。皆さんにお願いです。「沢山、本を読んでください」「色々な世界に触れてください」「たくさん仲間を作ってください」そして、「視野を広げ、人として幅のある、人の意見に耳を傾けられる大人になってください」「優しい社会を作る素敵な大人になってください」そのためにも次のそれぞれのステージで、思う存分に、青春を謳歌してください。我々、久寺家中学校は君たちの頑張りに報いるため、君たちが卒業した中学校として、誇れる学校であり続けるよう、これからも頑張っ

いくことを約束します。

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。先ほど申し上げましたように9年前、大きなランドセルを背負って小学校に向かうお子様を心配と期待の入り混じった気持ちで送り出してからもう9年が経ち、義務教育の終了を迎えました。お子様の成長に伴い、心配する内容も変わり、この一年間は進路決定という大きな課題にお子様と一緒に取り組んでいただいた事と思います。我々教職員一同も、微力ではありますが、全力でお子様にかかわって参りました。保護者の方の目には至らない点もあったかと思えます。これからもお子様にかかわった大人として保護者の方と一緒にお子様の成長を応援していきたいと思っております。本日まで久寺家中学校の教育にご理解をいただき、ご支援・ご協力賜りましたこと心から感謝申し上げます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に卒業生の皆さん、二年生の時送る会で発表した「千と千尋の神隠し」のテーマソング「いつも何度でも」の二番の歌詞を知っていますか。「呼んでいる、胸のどこか奥で、いつも何度でも、夢を描こう」で始まります。そして最後は「海の彼方にはもう探さない、輝くものは いつもここに、私の中に見つけられたから」で終わります。

この最後の一文「輝くものは いつもここに、私の中に見つけられたから」を私が見つけた英訳された歌詞では、

I've found a brightness,
it's always with me. となっていました。

直訳すると「私は輝きを見つけた、それはいつも私と一緒にいる。」になると私は思っています。

この言葉を借りて、君たちに

You've found a brightness,
it's always with you. を送ります。

君たちは自分で輝きを見つけ、十分成長しました。それはみんなの中に根付いています。自信をもって自分の道を進んでください。お家の人も、地域の方々も、もちろん先生方も、君たちの活躍を心から応援しています。卒業生のこれからの活躍を祈念して式辞といたします。

令和四年三月十六日
我孫子市立久寺家中学校
校長 稲村 光男